



The Japanese Society of Cytotechnologists, Hyogo Branch  
細胞検査士会兵庫県支部

## 神戸市とがん検診受診促進協定書を締結

記事内容は、細胞検査士会会報 Vol.52 に掲載しております。

細胞検査士会兵庫県支部では、このほど神戸市との間で「神戸市がん検診受診促進協定」を締結しました。がん検診の啓発活動のみならず、細胞検査士の地位向上・待遇改善、学術集会・セミナーの開催など様々な面において、行政当局の理解と良好な協力関係の構築は不可欠であり、おそらく全国の支部でもそれぞれ行政とのパイプ作りを積極的に進められていることと思います。今回の協定は、がん検診受診促進に向けて各種企業・団体と行政が連携して活動することを政令指定都市の首長と公的に約束を交わした点で意義があると思います。

その締結式が新聞社を集めて、平成24年9月21日に神戸市役所にて執り行われ、神戸市からは矢田立郎市長、雪村新之助保健福祉局長はじめ担当部長、課長らが、本会からは青木潤渉外委員長、兵庫県支部会長の小川隆文、事務局長の上岡英樹、子宮頸がん検診委員の高田直樹が出席しました。会場では本会の作成したパンフレットを参加者に配布し、細胞検査士という職業について理解を深めて頂けるように努めました。全国的に有名な保険会社、神戸に本店がある都市銀行、地元では知名度の高い生協や農協、音楽家などと共に、医療関係団体では本会だけが締結式とそれに続く市長懇談会に参加しましたが、「子宮の日」Love49の取組みや市民フォーラム「愛は子宮を救う」など地道で継続的な活動が行政からも高く評価されていることの証ではないかと思います。



出席者の方々に細胞検査士会のパンフレットを配って、われわれの役割や仕事の内容をアピールしました。



矢田神戸市長も「細胞検査士」という職業に大いに関心を示されました。